

フリースクール等に通う不登校児童生徒支援調査研究事業に 係る令和6年度アンケート集計結果（途中経過）について

県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校小学部・中等部（以下「県内公立小・中学校等」という。）に在籍する不登校児童生徒のうち、フリースクール等民間団体・民間施設（以下「フリースクール等」という。）に通う不登校児童生徒及びその保護者（子に対して親権を行う者（親権を行う者のないときは、未成年後見人）をいう。以下同じ。）の支援ニーズや進路の希望、フリースクール等での活動内容や活動状況を把握し、和歌山県教育委員会の今後の施策立案に生かすために調査協力金を支給する。

申請者	県内公立小・中学校等にこどもが在籍している保護者
申請の要件	和歌山県教育委員会の調査研究に協力する人で、かつ次の要件を全て満たす人
(1)児童生徒	ア 県内公立小・中学校等に在籍し、不登校等の状態にある人 イ フリースクール等に通っている人
(2)保護者	ア 児童生徒の在籍校と日常的に連絡が取れる人

【令和6年度】

- 調査協力金1人月額1万円で調査
- 9月から3月までの期間で実施
- 小学生55名、中学生16名から申請 合計68名からの回答があった
- 通うフリースクール等は14か所（いわゆるフリースクール6カ所、放課後等デイサービス8カ所）

フリースクール等に通う不登校児童生徒調査研究事業

調査研究の主な途中経過（令和6年9月から令和7年3月までの調査結果）

(1) 回答者数 保護者延べ68人（1人の保護者が、複数の児童生徒について回答している場合がある）

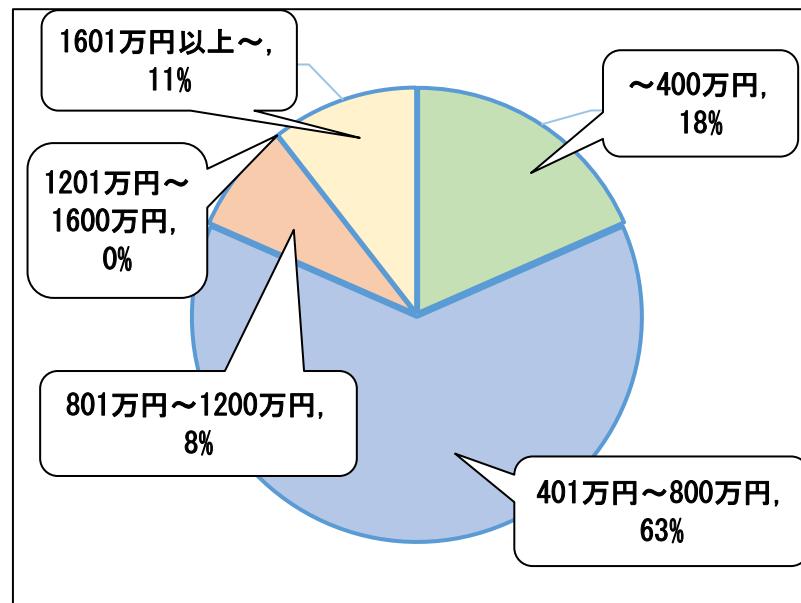
(2) フリースクール等に通う保護者の状況

授業料等平均支払額

1ヶ月当たり27,962円

（無料の施設は除く。）

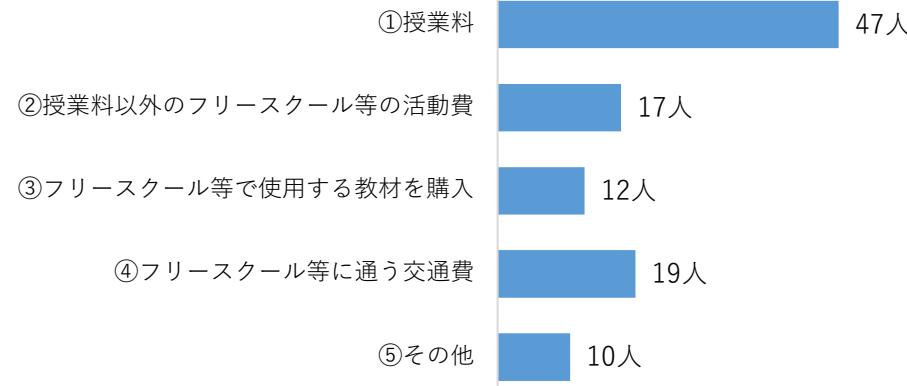
世帯年収（総収入）



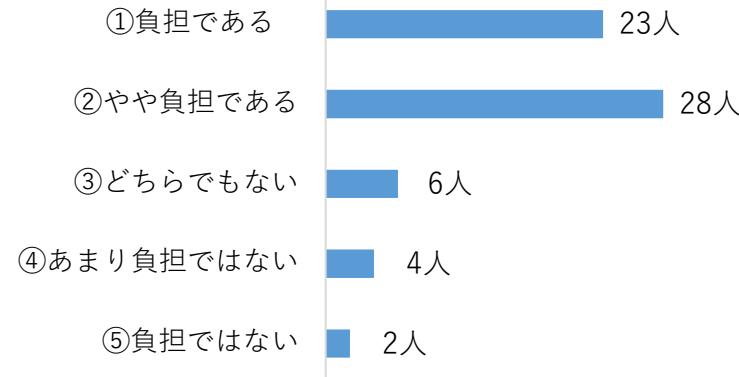
平均 681.4万円

調査協力金の使い道

（複数回答可）



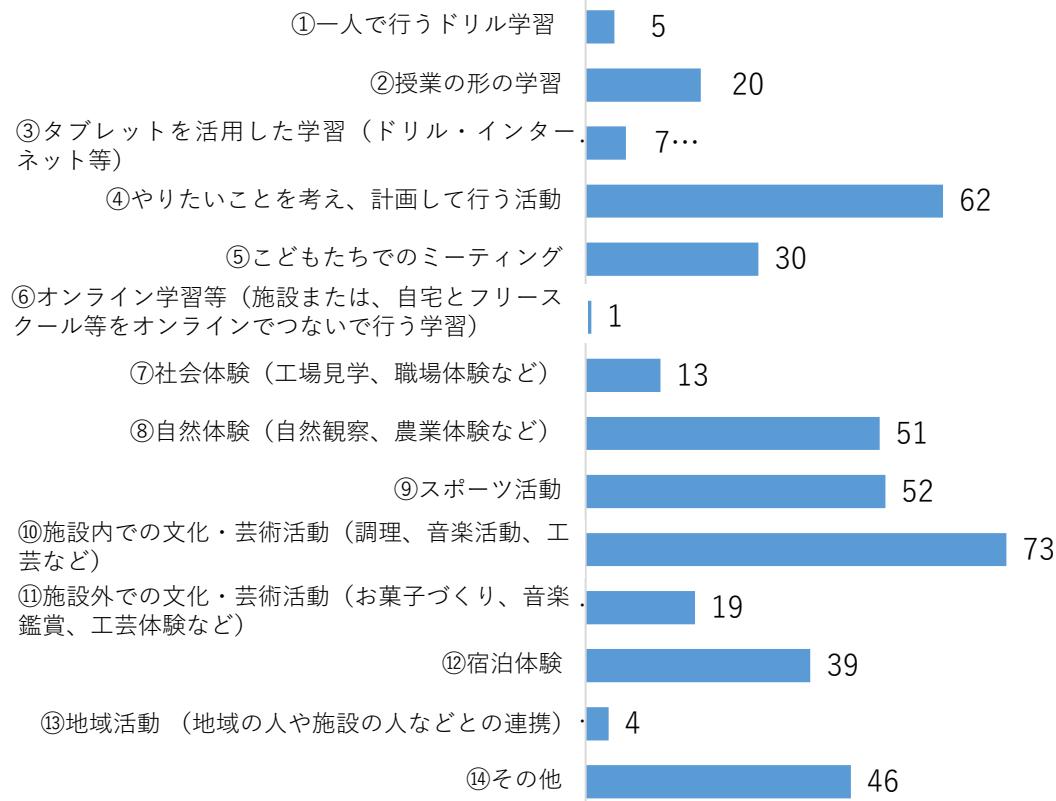
家計の負担感



フリースクール等に通う不登校児童生徒調査研究事業

調査研究の主な途中経過（令和6年9月から令和7年3月までの調査結果）

児童・生徒がフリースクール等で楽しさや興味を感じる活動



※こどもは1位から3位を選択

1位…3点、2位…2点、3位…1点で回答を集計

保護者の意見

(回答抜粋)

○支援センターはまだ利用したことがありませんが、フリースクールでも学習面での支援が毎日少しずつでもあれば、ありがとうございます。

○今のことだけでいっぱいいっぱいになってしまいますが、子どもの将来の不安が1番大きくて、経験談が聞けたり情報や相談とか出来るとありがとうございます。

○学校には日頃から色々な情報提供（フリースクール、居場所支援、相談場所）などをお願いしたいと思います。心理カウンセリングの資格持った人による面談や相談が受けられればありがとうございます。

○学校は登校するための支援でなく、いまの状態でなにができるか考えてほしい。登校しなくてもコミュニティにつながっているという気持ちが大切。